

脳ドック受診のご案内

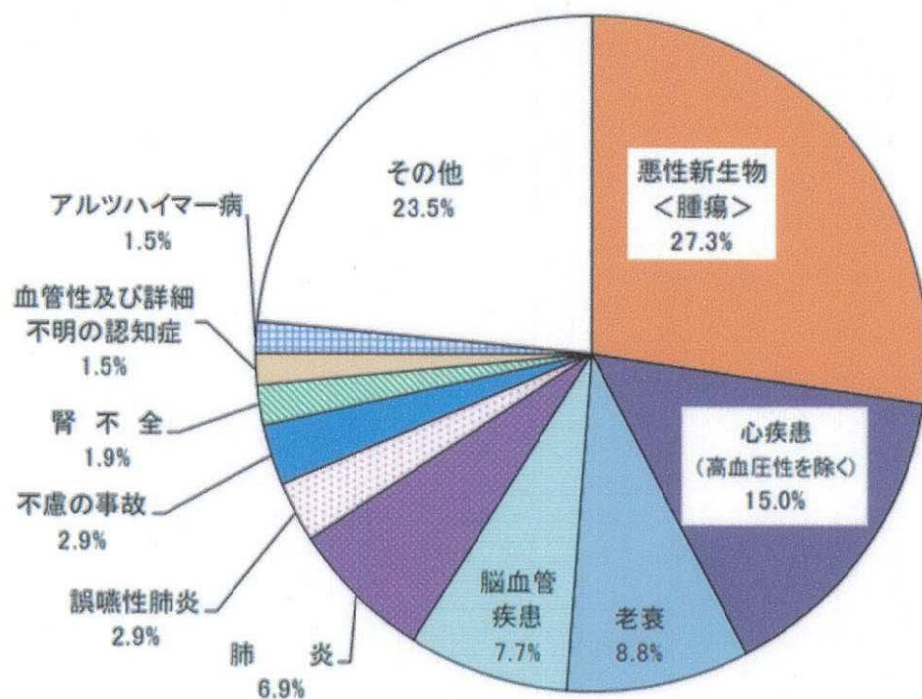
皆様は脳卒中の危険因子をご存知でしょうか？

下記に該当されている方はご自身の脳の状態を1度チェックされることをお勧めします。

- ・肥満、高血圧、糖尿病の既往がある
- ・過度の飲酒や喫煙をする
- ・運動不足
- ・味付けの濃いものを好む
- ・脳卒中の家族歴がある

脳卒中は厚生労働省の令和元年人口動態統計において“悪性新生物”、“心疾患”、“老衰”に次ぐ第4位と依然高い死亡原因となっており、発症後も身体に麻痺や発語障害などの後遺症が残る場合があります。

図5 主な死因の構成割合（令和元年(2019)）



脳卒中とは脳血管障害のうち急激に発症したものを呼び、代表的な疾患に脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血があります。

脳梗塞は脳血管が血栓などにより塞がり、脳細胞が壊死してしまう疾患

脳出血は動脈硬化によりもろくなった脳血管に圧力の高い血液が流れることで破け、脳内に血液が漏出してしまふ疾患

クモ膜下出血は脳血管内にできた動脈瘤に圧力の高い血液が流れることなどが原因で脳血管が破け、脳内のクモ膜下腔へ血液が漏出してしまふ疾患



脳卒中は発症してからでは完全に治りません。しかし、発症を予防することは可能です。脳ドックではMRI、CT、頸部超音波検査を行い、脳実質や脳血管の状態をチェックします。

当施設は日本脳ドック学会が推奨する検査項目を実施し、優良施設の認定を受けています。

(2021年4月現在、神奈川県下で認定を受けている施設は当院を含め20施設)



MRI FLAIR画像(白い部分が脳梗塞)

MRA画像(↑が動脈瘤)

X線CT画像(↓が脳梗塞)

頸動脈超音波画像(↓が血栓部分)

みなさん、脳ドックを受けてみましょう。